



令和7(2025)年度

2月 保育園だより

あいじ福社会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

あいじ福社会 三日市保育所
TEL 54-1064

まもなく暦の上では立春を迎えてますが、まだまだ寒い日が続きそうです。

今年度も残り2か月を切りました。少しずつ、新年度の準備が始まっています。特に5歳児は、ランドセルや勉強、スポーツ等、小学校に関する話題に花が咲き、期待で胸を膨らませながら日々を過ごしています。

一人ひとりが、これまでの園生活で得た力を十分に發揮し、生活や遊びに自信をもって行動できるよう、一日一日を大切に過ごしています。



今月の行事予定



3(火)	節分	20(金)	避難訓練（想定…近隣火災）
4(水)	桜井小学校1年生との交流会（5歳児） 9:30～11:00	24(火)	ひまわりの日～命ありがとう～ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※主食はいりません。
6(金)	臨時 3園合同研修会 早めのお迎えにご協力お願いします	18:00～	※感謝のつどい 3園合同研修会 早めのお迎えにご協力、お願いします。18:00～
11(水)	建国記念日	25(水)	
12(木)	シニア子育てサポーターの日(13日も)	27(金)	布団持ち帰り日 シーツや枕の洗濯、乾燥をし、次週持たせて下さい。
13(金)	黒部愛児保育園との交流（5歳児）		
16(月)	交通指導 3015 食品ロス使いきりの日 冷蔵庫をチェックして、食材を使い切りましょう！		< 3月の予定 >
17(火)	身体測定（至25日）	6 日	お茶会（5歳児）
19(木)	イギリッシュタイム 10:30～ ブライアン先生&りえ先生 毎月第3木曜日 4・5歳児対象	7 日	保護者会総会 新入園児保護者説明会
		14 日	くろワン出発式（4歳児） ※詳細は後日お知らせします。
		19 日	イギリッシュタイム（5歳児参観）
		23 日	12歳の集い（同窓会）
		28 日	修了式

保育・教育

子どもの何気ない言動には、大人が思いつかないような気付きや、思わず笑みがこぼれる微笑らしい姿があります。今回は、心が温まる子どもの世界を紹介します。



0歳児 ひよこ組

少しづつ友だちのことが気になり、指をさして「んー！」と一人ひとりの名前を保育者に確認したり、④「これ、〇〇ちゃんにどうぞしててくれる？」とお手伝いを頼むと、キヨロキヨロ周りを見渡して姿を探し、「あい！」と持って行ってくれる姿が出てきました。もらった子も、ちょこんと膝を曲げたり、頭をぺこりと下げ“ありがとう”的仕草を見せています。また、保育者の背中に隠れてや棚越しに顔を見合わせて「ばあ！」と笑顔でのかくれんぼのようなやりとりも見られるなど、保育者だけでなく友だちと関わる中での笑顔がたくさん見られるようになってきました。



2歳児 うさぎ組

子どもたちの中で、お買い物ごっこがブームになっています。「PayPayでお願いします」「レシートください」生活の中で得た知識を活かしながら遊び姿が見られ成長を感じます。その中でも150円と言いたいところを「ひゃくごじゅう、ごじゅう円です！」と言ったり、「PayPayで！」と言いながらポケットからお金を出したり、真似をしたいけれど完璧にはできない。それでも本人たちは自信満々なところが、なんとも子どもらしく見ていて微笑ましいです。



1歳児 りす組

- ミニバスケットゴールを使って、ボール遊びをしました。シュートを外してしまったので、④「あっ、おいしい（惜しい）」と言うと⑤「おいしい、おいしい」と言います。とってもおいしん坊さんようです。子どもの言い間違いにほっこりします。
- 遊戯室に飾ってあった天神様の前で、りす組の子どもたちもお参りをします。2礼後、2拍手すると、その後も続いて「パチパチパチ」拍手喝采となってしまう子どもたちです。“天神様、どうぞかわいい子どもたちの成長をお守りください”
- 日々の保育の中には、いくつもの発見と感動があります。思いもよらない発想に驚いたり、かわいい姿や言葉にほっこりしたりと、子ども達から元気とパワーをもらっています。



3歳児 いぬ組



4歳児 くま組



5歳児 らいおん組

異年齢交流

3～5歳児がくま組、らいおん組の保育室を自由に行き来し遊んでいた時のこと。くま組保育室で保育者と一緒に美容院ごっこをするいぬ組さん。保育者をお客に見立てシャンプーをしたり、髪をしばってみたりし、その出来栄えに大笑い楽しんでいました。後かららいおん組さんも加わり、より一層本格的な交流が増しました。店員役だったらいおん組さんが今度はお客様！と張り切って準備し椅子に座ったタイミングで、いぬ組さんは片付けの時間になってしまいました。「しょうがない…」と片付け始めたらいおん組さんの元にくま組さんが一人やってきました。「私もしたい！」と言うとらいおん組さんも嬉しそうに「して～」と再び準備。最後には一緒に片付けをして「ありがとう、楽しかったね」「またね」と声を掛け合っていました。



同じように、異年齢でゲーム遊びをしていると、年下児がルールを守れなかったり、思うようにいかず立ちを示します。すると年上児が「どうしたん？」「これは〇〇した方が楽しいよ」「一緒にしてあげようか？」と声を掛け、すんなりと納得し最後まで穏やかにゲームを楽しんでいました。また、その後教えてもらった遊びを同級生で行う姿があります。異年齢交流だからこそ生まれるやりとりや刺激、学びが多くあります。そのやりとりに心が温かくなります。今年度も後2ヶ月です。様々な行事や日々の生活の中での交流の機会を大切に過ごしたいと思います。

